



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 ヲタカフーズ株式会社
 コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 橋本 淳
 (氏名) 岸本 一人
 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 TEL 0569-72-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,766	8.5	485	16.7	552	15.7	380	38.8
2019年3月期第2四半期	10,668	0.8	582	36.3	655	34.0	621	86.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	54.79	
2019年3月期第2四半期	89.46	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	22,377	19,422	86.8	2,795.27
2019年3月期	22,710	19,234	84.7	2,768.21

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 19,422百万円 2019年3月期 19,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	1.3	830	28.5	930	27.2	650	36.6	93.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,832,311 株	2019年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,883,906 株	2019年3月期	1,883,866 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,948,423 株	2019年3月期2Q	6,948,506 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続いておりますが、個人消費は節約志向の傾向が強く、海外においては米中の貿易摩擦の激化による中国経済の減速懸念、さらに、地政学的なリスクの再認識や米国の金融資本市場の変動など世界経済の下振れリスクが多数存在し、先行きは依然として不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は9,766百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は485百万円（前年同期比16.7%減）、経常利益は552百万円（前年同期比15.7%減）、四半期純利益は380百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体調味食品部門は、加工醤油の売上が不調となりましたが、調味液が前年を若干上回り、売上高は2,076百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は208百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は2,021百万円（前年同期比3.8%減）となり、7月より鳥取工場にて新工場の稼動に伴う償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失（営業損失）21百万円（前年同期は29百万円のセグメント利益）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は1,390百万円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は174百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

即席麺部門は、カップ麺の受託が減少し、売上高は3,819百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は121百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

その他は、水産物の取扱量が減少し、売上高は457百万円（前年同期比39.4%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比83.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産の部は22,377百万円となり、前事業年度末と比べ333百万円減少しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が728百万円、売掛金が139百万円、固定資産においてその他（純額）が588百万円減少し、建物（純額）が647百万円、機械及び装置（純額）が425百万円増加したことによるものであります。

負債の部は2,954百万円となり、前事業年度末と比べ521百万円減少しました。これは主に、流動負債においてその他が426百万円、未払法人税等が166百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は19,422百万円となり、前事業年度末と比べ187百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が241百万円増加し、その他有価証券評価差額金が53百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は6,272百万円となり、前年同期と比べ564百万円（8.3%）の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は431百万円となり、前年同期と比べ526百万円（55.0%）の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益543百万円、減価償却費307百万円による資金の増加と法人税等の支払額321百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,080百万円（前年同期は170百万円の資金の獲得）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,011百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.1%）の支出減となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,284	6,556
売掛金	2,110	1,971
商品及び製品	415	456
仕掛品	32	32
原材料及び貯蔵品	257	256
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	19	92
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	15,612	14,859
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,851	2,499
機械及び装置（純額）	1,515	1,941
その他（純額）	1,720	1,131
有形固定資産合計	5,087	5,571
無形固定資産	13	10
投資その他の資産		
投資有価証券	1,797	1,720
その他	199	214
投資その他の資産合計	1,996	1,935
固定資産合計	7,098	7,517
資産合計	22,710	22,377

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,303	1,324
未払法人税等	347	181
賞与引当金	184	192
役員賞与引当金	5	2
その他	881	455
流動負債合計	2,722	2,156
固定負債		
退職給付引当金	739	787
役員退職慰労引当金	14	11
固定負債合計	753	798
負債合計	3,476	2,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	19,761	20,003
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	18,626	18,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	608	554
評価・換算差額等合計	608	554
純資産合計	19,234	19,422
負債純資産合計	22,710	22,377

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,668	9,766
売上原価	9,566	8,763
売上総利益	1,101	1,002
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	168	174
賞与引当金繰入額	25	26
役員賞与引当金繰入額	2	2
退職給付費用	17	16
役員退職慰労引当金繰入額	1	0
その他	303	296
販売費及び一般管理費合計	519	517
営業利益	582	485
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	39	40
雑収入	23	17
営業外収益合計	75	70
営業外費用		
賃貸費用	2	2
雑支出	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	655	552
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	231	—
特別利益合計	231	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
固定資産撤去費用	—	9
特別損失合計	0	9
税引前四半期純利益	887	543
法人税、住民税及び事業税	275	162
法人税等調整額	△9	0
法人税等合計	265	162
四半期純利益	621	380

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	887	543
減価償却費	294	307
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	8
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	48
前払年金費用の増減額(△は増加)	4	2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△3
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	0	0
有形固定資産撤去費用	—	9
投資有価証券売却損益(△は益)	△231	—
受取利息及び受取配当金	△52	△53
売上債権の増減額(△は増加)	278	139
たな卸資産の増減額(△は増加)	26	△41
仕入債務の増減額(△は減少)	△235	20
未払消費税等の増減額(△は減少)	87	△195
長期前払費用の増減額(△は増加)	5	4
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1	△10
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△22	△77
小計	1,062	699
利息及び配当金の受取額	52	53
法人税等の支払額	△157	△321
営業活動によるキャッシュ・フロー	957	431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196	△196
定期預金の払戻による収入	136	136
有形固定資産の取得による支出	△109	△1,011
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	—	△9
投資有価証券の売却による収入	340	—
その他の支出	△1	△1
その他の収入	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	170	△1,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額(△は増加)	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△138
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	989	△788
現金及び現金同等物の期首残高	5,847	7,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,836	6,272

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,046	2,099	1,568	4,197	9,912	755	10,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,046	2,099	1,568	4,197	9,912	755	10,668
セグメント利益	215	29	162	164	572	10	582

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,076	2,021	1,390	3,819	9,308	457	9,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,076	2,021	1,390	3,819	9,308	457	9,766
セグメント利益又は損失(△)	208	△21	174	121	483	1	485

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。